



2015年

<碑文谷教会付属幼稚園に入園して>

長男は徒歩40分、自宅からわりと離れた幼稚園に通わせていました。普段は園のバスの送迎がありますし、園庭も広く園児数も多いので活発な息子にはちょうど良いのではないかと思い選びました。

でも、東日本大震災を経験し考え方が変わりました。

あの日、携帯も電話も繋がらず余震が続く中、1才の長女を抱っこして小学校2年生の長男を学校まで迎えにいきました。波打つ電線を見つめながら不安な気持ちでいっぱい、いつもなら僅か10分の道のりがとても長く感じられたのを覚えています。震災から2年後に長女は碑文谷教会付属幼稚園に入園しました。震災当日息子を迎えに行く時の不安な気持ちが忘れられず、とにかく近い園を探しました。

入園させてみて…大正解でした！

園庭が狭いかな？→大人の目が行き届いて安心です。

園児数が少ないけどお友だちはできるかな？→学年を越えて皆がお友だちです。

何よりも先生方が素晴らしいんです。一人ひとりの心を大切にしてくださいます。これは本当に有難いことです。5年生になった長男が最近、「僕も碑文谷教会幼稚園に行きたかった」と言い出しました。

家族で一緒に礼拝や園の行事に参加しているうちにそう思ったそうです。実は私もそう思っていました。息子も碑文谷教会幼稚園に入れていたらと…。大きな園では全てが流れ作業と言うか、何百人という園児を相手する先生方はどこか機械的・事務的でいつもイライラしているのが当たり前でした。娘を通園させてみてそのあまりの違いに驚いたからです。

私が、「では将来あなたの子供を通わせたらいいんじゃない？」と言うと息子は、「幼稚園の先生になって碑文谷教会幼稚園で働く」と言い出しました！

同じ園のお母さま方も、「とても良い幼稚園だと噂が広まって、園児が増えちゃったらどうしよう」、このまま変わらないでいて欲しいね～なんて話しています！

素敵なお母さまとの出会いがあり、感謝の毎日です。

K. I.

「今日は幼稚園で〇〇君とどろどろ遊びをしよう！楽しかったから！」朝起きてすぐの息子の言葉に、幼稚園が楽しいのだなあ、この幼稚園に通えて良かったなあと感じております。

1番の魅力は子供が安心して過ごせる環境にあると思っています。

小規模のため、どの学年の先生も全園児を把握してくださっていますので、近くにいる先生に頼れる。それは子供達にはとても心強いことだと思います。また、遊びの時間は、園内どこでも自由に遊んでよいので、お兄さんお姉さんが過ごす年長さんの教室へ行ってみたり、お友達もスペースも、学年を越えて遊べますので、分からない場所がない、知らない顔がない、というもの、きっとほっとすることなのではないでしょうか。

また1日のスタートは自由遊びの時間。子供達にとって、無理なく1日を始められる、遊びながら心の準備が自然にできる大切な時間です。その後の一斉活動では、縦割りという時間もあり、学年を交えて決まったことを行う。子供それぞれが、上の子を見習ったり、下の子を助けたり、言葉では教えられないことを身につける機会がたくさんあることも大変貴重に感じます。

ただ、心配事もありました。入園前まで午前も午後も公園で走り回ることが日課だった息子にとって、園庭が少し物足りないのではないかという点です。しかし、1年と少し通った今感じるのは、大人の目線で心配していただけで、子供にとっては自然とそこが大好きで大切な園庭になるのだという事です。

「〇〇ちゃんはすごいんだよ!」「〇〇くんはすごいんだよ!」お友達を褒め、私に自慢してくる息子を見ると、一人一人のペースや個性に合わせて接してくださる先生方に、心を育てていただいていると実感する毎日です。

T. Y.

息子が年少へ入園直前の3月末に引越しをしてきました。どこの幼稚園もいっぱいと断られましたが、碑文谷教会幼稚園だけが受け入れをしてくださいました。せっかく入れた幼稚園でしたが、小さな園庭で元気な息子に大丈夫かしら?と失礼ながら心配してしまっていました。

入園後、息子はすぐにお友達も出来、お歌もたくさん覚えて毎日とても幸せそうでお親としてはとても安心して通わせることが出来ました。小さな園庭もそれほど心配することもなかったようで、自由時間に園庭で遊んだり、2階へ遊びに行ったり、その他遊びの天才の彼等はどうな場所も遊びのスペースにしまい園の中を自由に行き来しております。クラスを超え好きな場所で遊べる園は彼等にとって安心の場所なのだと思います。季節ごとの草花や野菜や果物の成長も子どもながらに観察して、教えてくれる姿は本当に微笑ましいです。今では、子ども達には小規模な園がかえって良いのかもと思っています。

幼稚園大好きな息子ですが、年中の今でも朝の別れがすっきり出来る日と出来ない日があります。時には未だに泣いてしまうこともあり、そんな息子を先生方は暖かく辛抱強く受け止めてくださいます。先生方は、一人一人違った個性を尊重し見守ってくださいます。そんな先生方から教えられることも多く親としても成長させていただけの幼稚園だなと感じております。

引越しによりいろいろな幼稚園を見比べたり出来ず、初めは心配なこともありましたが、この幼稚園と出会えたことをとても感謝しております。

S. Y.

親子ともに幼稚園に慣れることに必死で過ごした2か月、振り返ってみれば甘えん坊の幼児がやんちゃな少年に成長しており、人生初の社会生活を楽しんでいることを嬉しく思います。母子分離ができぬまま入園し、毎朝ときには前夜から大泣きでした。絶叫する息子をやっとの思いで連れて行くと、先生は「朝の儀式なんだよね」といつも優しく迎えてくださいます。心配で思い悩むことが多々あるなか、毎日歌うさんびかを家でも口ずさみだしたとき、すでに神さまは泣き叫ぶ息子の心にもいてくださることを知り、碑文谷教会幼稚園を選んで良かったと確信できました。次第にクラスにお友達ができ、また自由遊びの時間に年長さんとたたかいごっこをすることが楽しみとなり「そりゃお兄さんが勝つでしょう」と思い込んでいましたが、話を聞けば、お兄さんたちは手加減してくれ、ときには負けたふりをしてくれるとのこと。「今日は勝ったよ！」と嬉しそうに話す息子の姿を見るのは微笑ましく、また彼が年中～年長になったとき、自分がしてもらっているように年下の子たちと優しく遊べるようになって欲しいと願います。たたかいごっこをさせないという幼稚園があるなか「たたかいごっこの中にも痛みや加減など学ぶことはあり、あえて禁止はしていません。そこから子どもたちに次の遊びを見つけてほしいと思います」という幼稚園の考えに私は共感を覚えました。先生方は一人一人の子どもを本当によく見ていてくださり、送り迎えのときなど園内での様子を話してくださいます。これも少人数ゆえできることではないでしょうか。今は素敵な幼稚園に出会えたことを感謝して過ごしています。

N. W.

幼稚園へ入園し三ヶ月が経とうとしております。

エネルギーの限界まで体一杯動かし幼稚園生活をエンジョイ！

お迎え時間の手はいつも暖かく、帰り道には目がとろん！

家で遊びながら歌う歌は決まって讚美歌、園で教えて頂いた工作や先生が読んで下さった本を一生懸命説明しようとするそんな姿に感動をしている毎日です。

早生まれな上に、大きな病気にかかり入院の経験もある次女はゆっくりと成長しており、長女とは大きな年齢差以外に、成長の歩みや性格なども大きく違い、親としても戸惑い悩む事も。その反面大笑いさせてくれたり、大事なことを気づかせ教えてくれたり 私達も又、改たな再出発をしている最中です。

長女の成長を通し私達なりに学んだこと、それは人としての根本、“健康、愛情、心、笑顔、感謝 etc…” その原点は子供の成長に欠かせないことでした。碑文谷教会付属幼稚園では人としての根本を園の先生全員で全生徒へ教えてくださいます。先生方は決して固定観念で子供達を見ることなく、それぞれの個性の賜物を認め大切にしてくださり、月齢や成長過程を理解しつつ子供の良い所を沢山見つけ褒めてくださいます。子供の目線で子供の気持ちを考え、愛情を持って接し心を育んでくださいます。毎日沢山のエピソードを教えて下さり、本当に心のある温かい幼稚園だと思います。その温かさからこそ 子供達の心を育み、小さな学年の頃を上級生からしてもらった事を当たり前のように下級生へ出来るのだと思います。

さりげない優しさをくれる姿や、きらきらと目を輝かせながら遊んでいる姿はとても眩しいです。

子供の成長過程には色々な事があり、親はその都度一緒に喜び、悩み、笑い、考え、学び、、、の繰り返しですが、先生方には親としての悩み等も相談できる！と信頼致しております。この三ヶ月間でこれほど感謝しているのです。三年後はどれだけの感謝になるのか考えるだけで涙です。

人としての根本を育む、愛情一杯の幼稚園で笑顔の絶えない毎日が過ごせますことを心から感謝し嬉しく思っております

H. S.

『娘が180度変わった！』

入園前は、人見知りで声も小さく、大人に対して警戒心が強い いつも私の後ろに隠れてしまうような娘でした。ところが、年中になった今では たくさんのお友達ができて、自分の意志も伝えられるようになり、毎日楽しい園生活を送っているようです。入園前の娘を知る友人達にはたくましくなったと言われます。

「これ、すみれの〇〇ちゃんが作ってくれたの！」と、ラブレターを嬉しそうに見せてくれたり、先生からは「娘がお弁当の時、同じグループの〇〇くんの出したままのイスをそっと机の中に戻しています」と、遊びの中でたくさんのことを学んだり、集団生活の中でそっとお友達を気遣えるようになっていいるとは、1年前は想像しておりませんでした。

これは、家庭的な温かみの溢れた園、学年を超えて子ども同士が仲良く上級生が良きお手本になる風土が根付いているからなのだと思います。

私自身も、子育て先輩お母様、子育て初めてお母様方、そしてプロフェッショナルの先生方にアドバイス頂きながら母親4歳、毎日勉強させていただいております。私は碑文谷教会付属幼稚園にご縁(園)をいただいたことに とても感謝しております。

M. S.

ご入園お待ちしております！

